

都市再生整備計画 事後評価委員会

大殿周辺地区

説明資料

令和3年3月

山口県山口市

議事1. 「大殿周辺地区」事後評価

- 事後評価制度の概要 (p4)
- 大殿周辺地区都市再生整備計画の概要 (p5~p8)
- 成果の評価 (p9~p29)

議事2. 今後のまちづくり方策

- まちの課題の変化 (p31)
- 今後のまちづくり方策 (p32~p33)

議事1.「大殿周辺地区」事後評価

都市再生整備計画 事後評価制度の概要

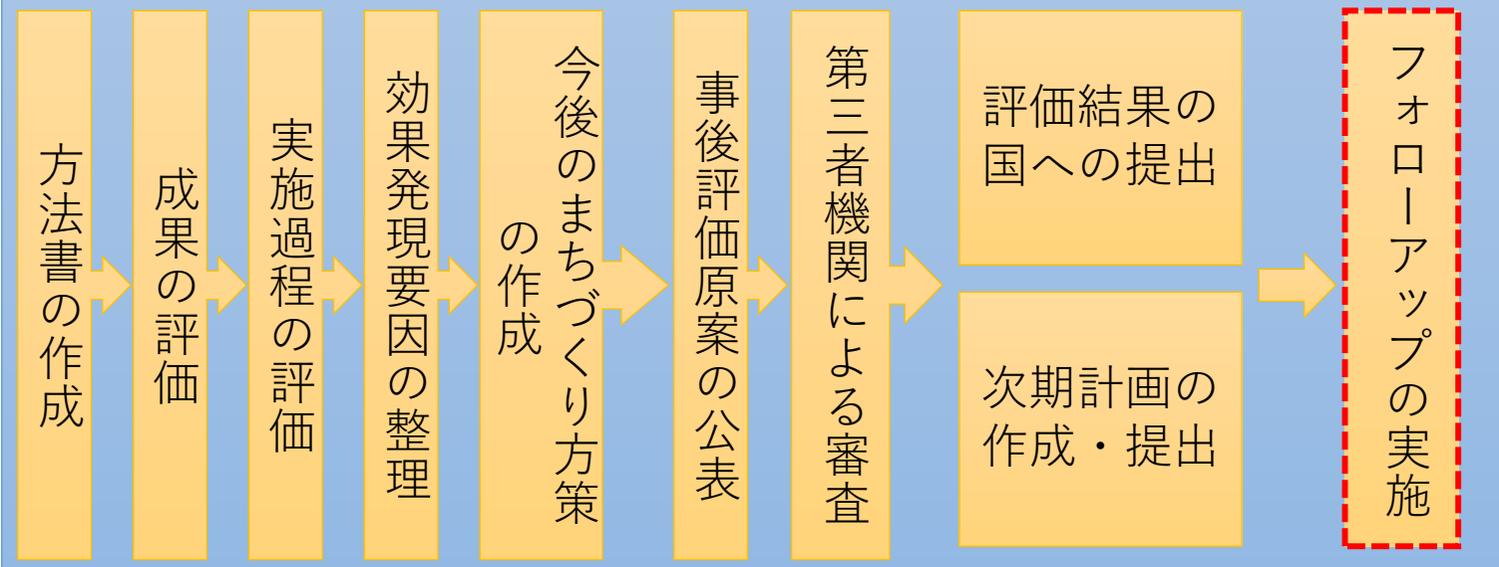
■事後評価の目的

事業成果を住民にわかりやすく説明すること、交付金をもたらした成果等を客観的に判断して、今後のまちづくりを適正な方向に導くことを目的とする。

○事後評価の実施時期

- ✓ 交付終了年度に実施。
- ✓ 事後評価に計測できない指標は、「見込み」の値により評価を行い、翌年度以降にフォローアップを実施。

○事後評価の手続き



まちづくりの課題

課題①

都市機能の集積や公共交通の利便性があり、歴史的市街地として「歩いて暮らせるまちづくり」を進めてきているが、歩道のない狭い道路が多いこともあり、**道路の安全性・快適性の確保**、それに伴う歩行者の**回遊性の向上**が求められている。

課題②

一の坂川周辺での魅力ある美しいまちなみ再生による効果が、**竪小路（萩往還）や大殿大路沿道への波及**、地区全体でのまちなみの再生に至っておらず、**地区の東西軸や憩いの場などの生活環境の整備**を通じたまちの魅力向上が求められている。

課題③

豊かな歴史と伝統文化を有するという地域ストックを活かした、**景観形成のルールづくり**や地区内外者への**情報発信**と、これを通じた**交流・定住の促進**が求められている。

まちづくりの目標

大目標

快適で利便性の高い居住空間の形成による 歴史の薫るまちなか居住の推進

目標①

既存の都市機能を活かした歩いて暮らせるまちづくり

方針に 合致する 主要事業

高質空間形成施設（水の上町香山町線、桜島一丁目下後河原線、上後河原東山二丁目線外1線、
大手町野田線、下堅上下後河原線、大殿大路下堅上線外1線）
地域生活基盤施設（情報板設置事業）
地域創造支援事業（施設誘導案内板設置、交通利便施設）

目標②

路地の再生など生活環境の整備によるまちの魅力向上

方針に 合致する 主要事業

高質空間形成施設（水の上町香山町線、桜島一丁目下後河原線、上後河原東山二丁目線外1線、
大手町野田線、下堅上下後河原線、大殿大路下堅上線外1線）
地域生活基盤施設（（仮）八坂神社前広場：広場、・情報板設置）
地域創造支援事業（施設誘導案内板設置）

目標③

まちなか居住の魅力を高める景観形成と交流促進

方針に 合致する 主要事業

事業活用調査（景観検討調査、事業効果分析調査）
地域生活基盤施設（情報板設置事業）
地域創造支援事業（施設誘導案内板設置）

目標を定量化する指標

指標1

生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度 (%)

従前値(H26)

29.3



目標値(R2)

33.0

指標2

東西方向の通行者数 (人/日)

従前値(H27)

544



目標値(R2)

636

指標3

まちなみなどの景観に対する満足度 (%)

従前値(H26)

40.2

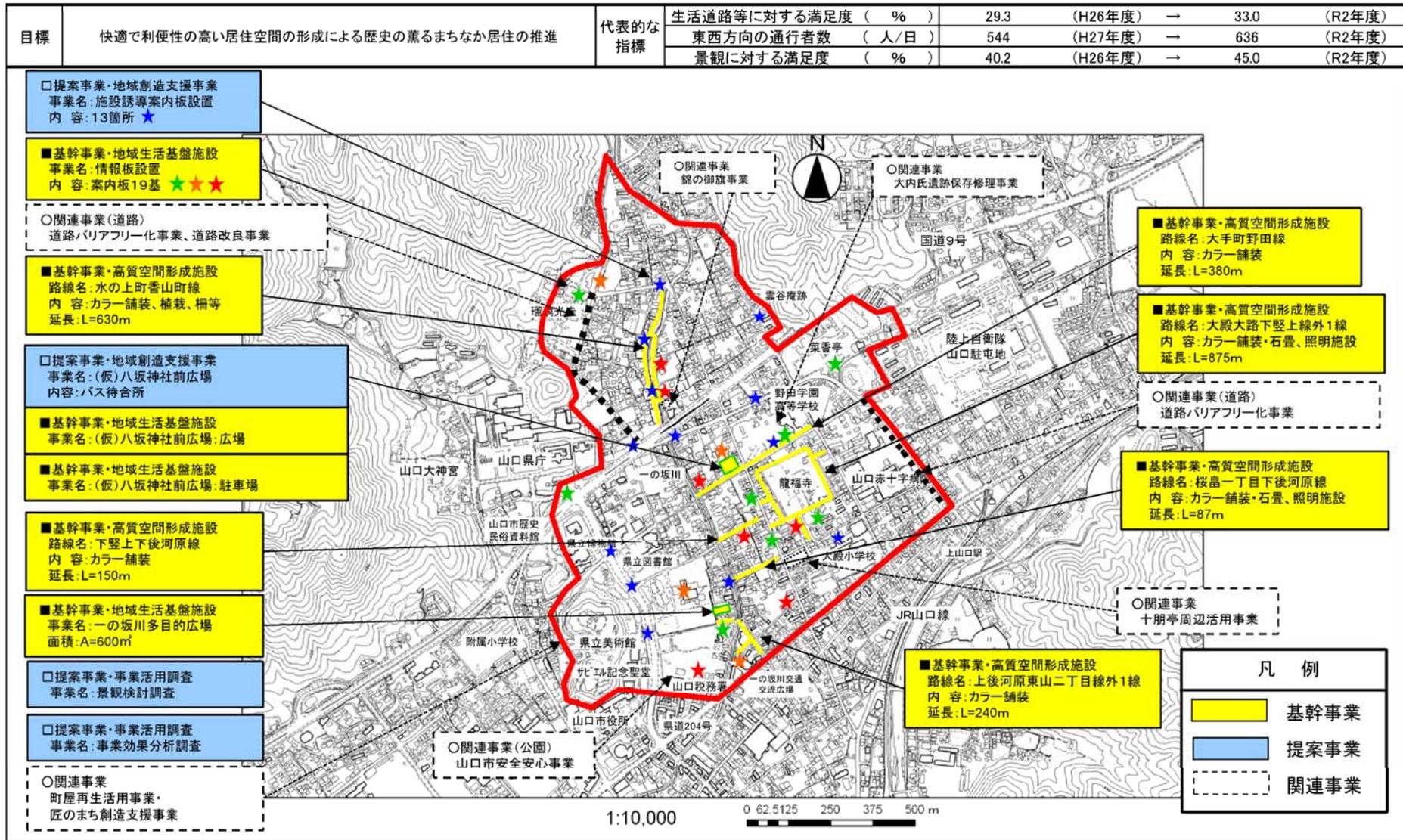


目標値(R2)

45.0

整備方針概要図

大殿周辺地区(山口県山口市) 整備方針概要図



整備後の状況

道路 (水の上町香山町線)



道路 (大殿大路下堅上線外1線)



道路 (下堅上下後河原線)



道路 (大手町野田線)



施設誘導案内板



都市再生整備計画変更の経緯

■事業の削除

事業名	削除の理由
高質空間形成：龍福寺周辺照明施設	上位計画である都市核づくりマスタープランを改定中であり、その内容を踏まえた整備を行うため。
高質空間形成：亀山公園照明施設	
地域創造支援事業：地域資源の発掘	地元NPOとの協働により、他の財源から作成することとしたため。

■事業の追加

事業名	追加の理由
なし	

都市再生整備計画変更の経緯

■事業の内容等の変更（基幹事業）

事業費単位：百万円

事業名	当初計画		最終変更計画	
	事業費	事業内容	事業費	事業内容
(仮) 八坂神社前広場：駐車場	2	A=500m ²	8	A=500m ²
一の坂川多目的広場	25	A=600m ²	46	A=600m ²
水の上町香山町線	205		220	
桜畠一丁目下後河原線	110		18	
上後河原東山二丁目線外1線	60		73	
大手町野田線	110		123	
下豎上下後河原線	30		37	
大殿大路下豎上線外1線	225		212	
龍福寺周辺照明施設	40			削除
亀山公園照明施設	10			削除

都市再生整備計画変更の経緯

■事業の内容等の変更（提案事業）

事業費単位：百万円

事業名	当初計画		最終計画変更	
	事業費	事業内容	事業費	事業内容
施設誘導案内板設置	30	13箇所	10	13箇所
交通利便施設	10	A = 900m ²	16	A = 900m ²
景観検討調査業務	10		4	
事業効果分析調査	10		5	
地域資源の発掘	5	一式		削除

指標 1. 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度

生活道路の整備状況

大手町野田線



大殿大路下豎上線外1線



下豎上下後河原線



水の上町香山町線



令和2年9月撮影

指標 1. 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度

○成果の評価について

指標 1・生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度（％）

山口市まちづくりアンケートにおいて「満足」「どちらかといえば満足」と回答した大殿地区の市民の割合。



生活道路の舗装・照明施設等の整備が進み、道路の安全性・快適性が向上したことで、**整備状況や安全な交通に対する満足度が上昇**している。

種別	事業名・箇所名		指標改善への貢献度
基幹事業	地域生活基盤整備（情報板設置）	○	指標の改善に間接的に貢献した
	高質空間形成施設（水の上香山町線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（桜島一丁目下後河原線）	△	指標の改善に貢献しなかった
	高質空間形成施設（上後河原東山二丁目線外1線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大手町野田線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（下堅上下後河原線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大殿大路下堅上線外1線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
提案事業	地域創造支援事業（（仮）八坂神社前広場）	○	指標の改善に間接的に貢献した

指標 1. 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度

○評価値の算出方法

令和2年1月に実施された「山口市まちづくりアンケート」の地域別の集計結果のうち、「(市道のうち)生活道路の整備状況」に関する大殿地区の満足度(満足、どちらかといえば満足の割合)を評価値とする。

問76. 現在の満足度

3. (市道のうち)生活道路の整備状況

	合 計	1. 満足	2. どちらか といえば 満足	3. 普通	4. どちらか といえば 不満	5. 不満	6. 無回答
全 体	1,986 (100.0)	125 (6.3)	423 (21.3)	880 (44.3)	345 (17.4)	124 (6.2)	89 (4.5)
1. 大殿	94 (100.0)	8 (8.5)	27 (28.7)	35 (37.2)	14 (14.9)	4 (4.3)	6 (6.4)

評価値

$$(8 + 27) \div 94 \times 100 = 37.2\%$$

指標 2. 東西方向の通行者数

通行者数に関する事業の整備状況

桜島一丁目下後河原線



施設誘導案内板



下壘上下後河原線



大手町野田線



令和2年9月撮影

指標 2. 東西方向の通行者数

○成果の評価について

指標 2. 東西方向の通行者数（人/日）

休日に桜島一丁目下後河原線（東西方向）を通行する自転車及び歩行者の交通量を計測する。



計測地点（桜島一丁目下後河原線）における**道路整備事業が未完了**であることや、**新型コロナウイルスの影響による観光客の大幅な減少**により、目標未達成となった。事業の完了及び新型コロナウイルスの終息により、効果が発現すると考えられる。

種別	事業名・箇所名		指標改善への貢献度
基幹事業	地域生活基盤整備（情報板設置）	△	数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる
	高質空間形成施設（桜島一丁目下後河原線）	××	指標の目標未達成の直接的な原因となった
関連事業	十朋亭周辺活用事業	△	数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる
	大内氏遺跡保存修理事業	×	指標の目標未達成の間接的な原因となった

指標 2. 東西方向の通行者数

交通量調査 位置図

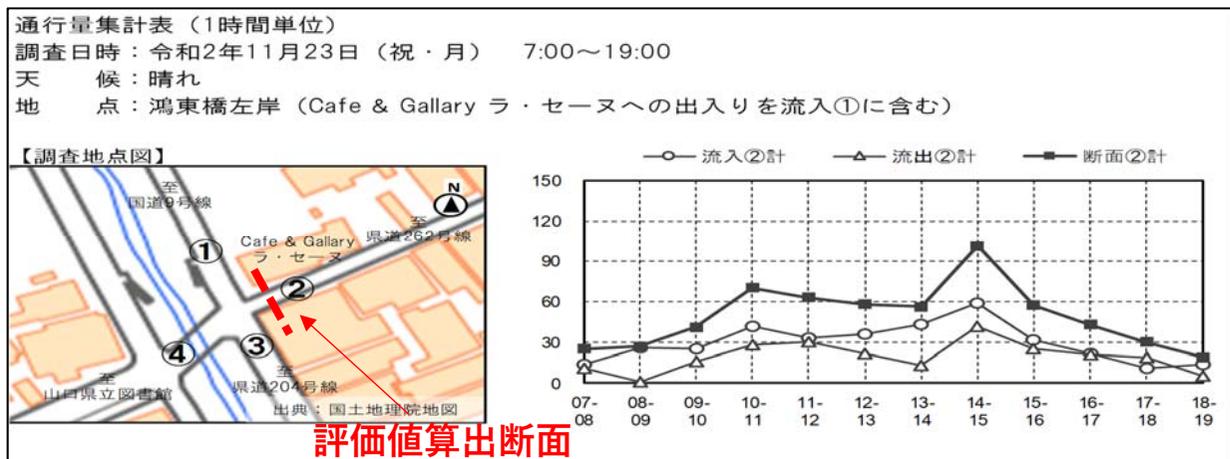


画像引用：オープンマップ@山口市 <https://aac-omap.com/ygb/>

指標 2. 東西方向の通行者数

○評価値の算出方法

令和2年11月23日（祝・月）に実施した交通量調査の結果を評価値とした。



【調査結果】

②断面を通行する自転車及び歩行者の交通量は

590（人/日）

	流入②計			流出②計			断面②計		
	歩行者	自転車	合計	歩行者	自転車	合計	歩行者	自転車	合計
07:00～08:00	12	2	14	7	4	11	19	6	25
08:00～09:00	11	15	26	1	0	1	12	15	27
09:00～10:00	8	17	25	12	4	16	20	21	41
10:00～11:00	25	17	42	21	7	28	46	24	70
11:00～12:00	20	13	33	25	5	30	45	18	63
12:00～13:00	23	13	36	19	3	22	42	16	58
13:00～14:00	29	14	43	8	5	13	37	19	56
14:00～15:00	50	9	59	40	2	42	90	11	101
15:00～16:00	26	6	32	20	5	25	46	11	57
16:00～17:00	17	5	22	11	10	21	28	15	43
17:00～18:00	7	4	11	10	9	19	17	13	30
18:00～19:00	9	5	14	2	3	5	11	8	19
12時間計	237	120	357	176	57	233	413	177	590

指標3. まちなみなどの景観に対する満足度

景観形成に関する整備状況

水の上町香山町線



大手町野田線



大殿大路下豎上線外1線



施設誘導案内板



令和2年9月撮影

指標3. まちなみなどの景観に対する満足度

○成果の評価について

指標3. まちなみなどの景観に対する満足度 (%)

「山口市まちづくりアンケート」の地域別集計結果のうち、「(市道のうち)生活道路の整備状況」に関する大殿地区の満足度



道路修景整備が進み満足度は**やや向上**しているものの、「(仮)八坂神社前広場」や「一の坂多目的広場」の整備や、「桜島一丁目下後河原線」の修景整備が未完了であることから、**効果が十分に現れていない**。事業の完了により、効果が発現すると考えられる。

種別	事業名・箇所名		指標改善への貢献度
基幹事業	地域生活基盤整備 ((仮) 八坂神社前広場：広場)	△	指標の改善に貢献しなかった
	地域生活基盤整備 (一の坂多目的広場)	△	指標の改善に貢献しなかった
	高質空間形成施設 (水の上香山町線)	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設 (桜島一丁目下後河原線)	△	指標の改善に貢献しなかった
	高質空間形成施設 (上後河原東山二丁目線外1線)	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設 (大手町野田線)	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設 (下縦上下後河原線)	◎	指標の改善に直接的に貢献した
提案事業	地域創造支援事業 ((仮) 八坂神社前広場)	△	指標の改善に貢献しなかった
	事業活用調査 (景観検討調査業務)	◎	指標の改善に直接的に貢献した

指標3. まちなみなどの景観に対する満足度

○評価値の算出方法

令和2年1月に実施された「山口市まちづくりアンケート」の地域別の集計結果のうち、「まちなみなどの景観」に関する大殿地区の満足度（満足、どちらかといえば満足の割合）を評価値とする。

問68. 現在の満足度

4. まちなみなどの景観

	合 計	1. 満足	2. どちらか といえば 満足	3. 普通	4. どちらか といえば 不満	5. 不満	6. 無回答
全 体	1,986 (100.0)	165 (8.3)	432 (21.8)	1,001 (50.4)	232 (11.7)	77 (3.9)	79 (4.0)
1. 大殿	94 (100.0)	8 (8.5)	31 (33.0)	40 (42.6)	8 (8.5)	7 (7.4)	0 (-)

評価値

$$(8 + 31) \div 94 \times 100 = 41.5\%$$

その他の数値指標①：大殿小学校の児童生徒数

○成果の評価について

その他の数値指標① 大殿小学校の児童生徒数（人）

山口市教育委員会集計による大殿小学校の生徒（1～6年生）の合計。



生活道路の整備により、**快適で利便性の高い居住区間が形成**され、子育て世代の定住促進につながり、地区内の小学校の児童数が増加した。

種別	事業名・箇所名		指標改善への貢献度
基幹事業	高質空間形成施設（水の上香山町線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（桜畠一丁目下後河原線）	△	指標の改善に貢献しなかった
	高質空間形成施設（上後河原東山二丁目線外1線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大手町野田線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（下豎上下後河原線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大殿大路下豎上線外1線）	△	指標の改善に貢献しなかった

その他の数値指標②：山口市菜香亭、大路ロビーの利用者数

○成果の評価について

その他の数値指標② 山口市菜亭、大路ロビーの利用者数（人）

「山口県の宿泊者及び観光客の動向」より、観光地別観光客数の数値。



道路の修景整備や情報板設置に伴い、**地区内の回遊性や案内・誘導機能が向上**し、観光・交流拠点施設の利用者数が増加した。

種別	事業名・箇所名		指標改善への貢献度
基幹事業	地域生活基盤整備（情報板設置）	○	指標の改善に間接的に貢献した
	高質空間形成施設（桜島一丁目下後河原線）	△	指標の改善に貢献しなかった
	高質空間形成施設（上後河原東山二丁目線外1線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大手町野田線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（下豎上下後河原線）	◎	指標の改善に直接的に貢献した
	高質空間形成施設（大殿大路下豎上線外1線）	△	指標の改善に貢献しなかった

実施過程の評価について

－モニタリングの実施状況－

実施内容：山口市まちづくりアンケート

➤ 実施状況

予定はなかったが実施した

➤ 実施頻度

毎年度1回

➤ 実施時期

毎年度1月頃

➤ 実施結果

指標1「生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度」、及び指標3「まちなみなどの景観に対する満足度」は、山口市が毎年実施している市民アンケート調査より数値を確認できるため、モニタリングを実施することができた。



○今後の対応方針等

モニタリングと同様に、随時市民アンケート調査結果より確認する。

実施過程の評価について

－住民参加プロセスの実施状況－

実施内容：「大内文化街道まちなみ協議会」と山口市との連携

➤ 実施状況

予定どおり実施した

➤ 実施頻度

毎年度10回程度

➤ 実施時期

繁忙期を除き、概ね月1回

➤ 実施結果

住民との協働によるまちなみ景観ルールづくりの議論が進むとともに、まちなみ景観の将来像と調和する公共施設の景観整備が図られた。



○今後の対応方針等

公共施設の景観整備や景観ルールづくりについて継続して実施する。

実施過程の評価について －持続的なまちづくり体制の構築状況－

実施内容：「大内文化街道まちなみ協議会」と山口市との協働により、事業完了のまちの維持・管理活動、イベントの企画等を継続的に行う。

➤ 構築状況

予定どおり実施した

➤ 体制構築にむけた取組内容

関係自治会長が会員として参画する同協議会と緊密に連携することで、自治会への説明・協議の流れがスムーズになった。また、まちづくり及び歴史文化団体等との連携もスムーズになり、イベント活用に向けた整備の在り方について意見を聞くことができた。

➤ まちづくり組織名：組織の概要

- ・ 大内文化街道まちなみ協議会
- ・ NPO法人山口まちづくりセンター
- ・ 大殿春秋会



○今後の対応方針等

本計画で予定していた桜島一丁目下後河原線などの公共施設の景観整備や景観ルールづくりについて継続中であることから、引き続き同協議会と連携し、持続的なまちづくり体制の構築を目指す。

事後評価のまとめ

大目標

快適で利便性の高い居住空間の形成による歴史の薫るまちなか居住の推進

目標①

既存の都市機能を活かした
歩いて暮らせるまちづくり

目標②

路地の再生など生活環境の整備
によるまちの魅力向上

目標③

まちなか居住の魅力を高める
景観形成と交流促進

指標① 生活道路の整備状況や安全な通行に対する満足度 (%)

達成

山口市まちづくりアンケートにおいて「(市道のうち)生活道路の整備状況」に関する
大殿地区の満足度

従前値(H26) 29.3

目標値(R2) 33.0

評価値(R2) 37.2

指標② 東西方向の通行者数 (人/日)

未達成

休日に東西方向の生活道路を通行する自転車及び歩行者の交通量

従前値(H27) 544

目標値(R2) 636

評価値(R2) 590

指標③ まちなみなどの景観に対する満足度 (%)

未達成

山口市まちづくりアンケートにおいて「まちなみなどの景観」に関する大殿地区の満足
度

従前値(H26) 40.2

目標値(R2) 45.0

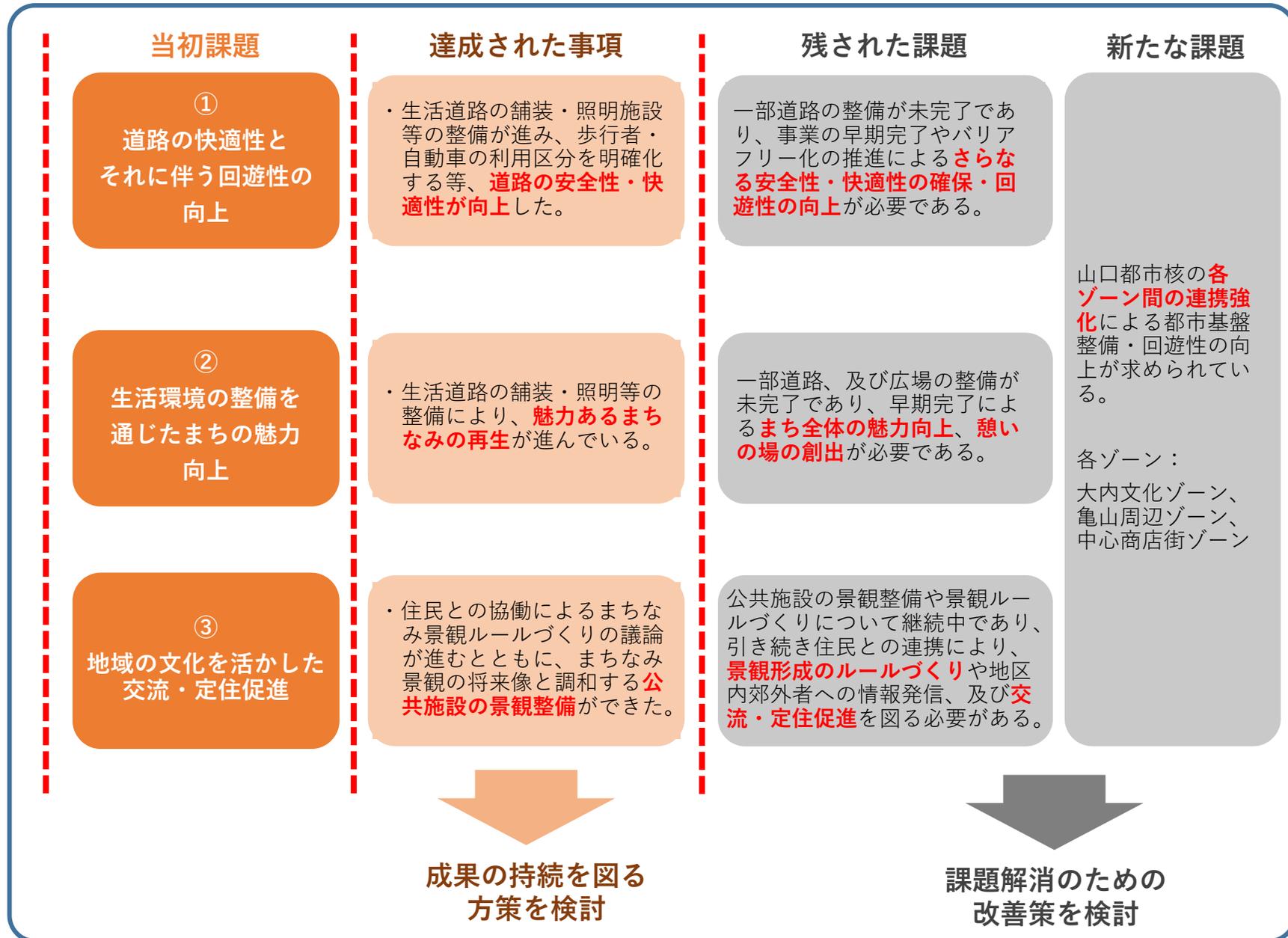
評価値(R2) 41.5

事後評価原案の公表について

公表方法	具体的方法
インターネット	市のホームページに掲載
広報掲載・回覧・個別配布	市報で原案公表を行う旨を掲載
説明会・ワークショップ	
その他	窓口閲覧

議事2. 今後のまちづくり方策

まちの課題の変化



今後のまちづくり方策

○効果の持続を図る事項

歩行者の安全性・快適性の確保

・生活道路の整備・維持管理により、**歩行者を中心とした安全かつ快適な歩行者空間**を形成する。



想定される事業

- ・電線類の地中化
- ・交通安全対策の検討に関する体制づくり

等

今後のまちづくり方策

○改善する事項

歩行者の回遊性の向上

- 道路空間を含む**公共空間の有効活用**により、にぎわいを創出するとともに、**道路のバリアフリー化及び誘導サインの設置**により、歩行者通行量の増加、回遊性の向上を図る。
- 計画区域内だけでなく、山口都市核の**各ゾーン間の連携・回遊性の向上**により、市街地全体のにぎわい創出を図る。



想定される事業

- 道路のバリアフリー化の推進
- 誘導サインの設置
- 大路口ビーやHP等によるイベント情報の発信
- 継続的な交通量調査の実施

等

地区全体のまちなみ再生、魅力向上

- 未完了である**道路及び広場の整備や、沿道土地利用の促進**により、良好な景観・まちなみ形成を推進するとともに、**民間活力等を活用した交流・憩いの場の形成**への支援を充実し、地区全体の魅力向上を図る。



想定される事業

- 道路修景整備、広場整備
- 民地における建物再生等への支援
- まちなみ再生に係る景観ルールづくり

等